

無限小揺らぐ

和歌連作の部屋 百首歌集 2015/9/25-2016/4/23

- 9101 無限小揺らぐ月日の生れしより百代過客御身も旅行く（丹仙）（9月25日 13時49分）
- 9102 呼吸する大海原の胎動は無限につづく命の起源（くりおね）（9月26日 10時52分）
- 9103 残り蚊に献血したよと婆は言う生命継ぐための吸血なれば（水）（9月26日 13時57分）
- 9104 ハチ公に命日ありき八十年博士と共に立つ記念像（彰）（9月26日 15時30分）
- 9105 外孫を初見の母の江戸詣兄と立ちたる二重橋前（ひつじ）（9月26日 18時09分）
- 9106 露寒に備えて母の打ち直す布団懐かし秩父銘仙（シナモン）（9月27日 08時12分）
- 9107 こころよき眠りにさそう日に干した布団に香る母のぬくもり（くりおね）（9月27日 09時44分）
- 9108 曼珠沙華腹出す児らを愛したる俳翁熱烈反戦の檄（丹仙）金子兜太氏に（9月27日 09時53分）
- 9109 秩父路を駆下り見れば粉屋哭く湾曲火傷日本列島（彰）（9月27日 17時54分）
- 9110 国会に行くとかふ友の兜太の書届け届けよ私の叫びも（ひつじ）（9月27日 20時28分）
- 9111 問われればはっきりとした意思表示今宵の月に焼き栗爆ぜる（くりおね）（9月28日 09時08分）

- 9112 兄なる日妹なる月と一つなる地に大いなる潮の満ち来る(丹仙)スーパームーンの十六夜に (9月28日 21時56分)
- 9113 十六夜の明けて太陽輝きぬラウダーテ・シー世界への愛 (彰) (9月29日 08時48分)
- 9114 悪をなす多数派に着くことなかれ愛しながらの闘いもある (風) (9月29日 22時49分)
- 9115 絶滅の危機に瀕する歯車が狂いはじめてゼロに近づく (くりおね) (9月30日 07時45分)
- 9116 独逸いま德国(ドイツ)となりて率先す国境超ゆる難民支援 (丹仙) (10月1日 07時53分)
- 9117 美しい国の私というけれど美国(あめりか)だけを気にする首相 (風) (10月2日 07時39分)
- 9118 来年の選挙気にしてのたまへり年寄大事女性も大事(シナモン) (10月2日 21時45分)
- 9119 難民の受け入れ出来ず日の本よ忘却なりし奉仕の精神(ひつじ) (10月2日 21時45分)
- 9120 紅葉かつ散るやこの地に眠りたる帰化の司祭は被爆者の伴侶 (丹仙) クラインゾルゲ(高倉誠)神父に (10月3日 10時46分)
- 9121 枯葉散る大地の温もり懐かしき父の胸板母の眼差し(やんま) (10月3日 12時26分)
- 9122 思い出すサンマの煙る屋台にて昭和五輪の白黒テレビ(水) (10月3日 18時46分)
- 9123 外つ国の目黒の秋刀魚食ぶすなりインターネットは宇宙まで発す(ひつじ) (10月4日 16時14分)
- 9124 秋刀魚焼く御身の背にも降り注ぐマイクロ輻射宇宙より来る (丹仙) (10月5日 22時49分)

- 9125 ノーベル賞微生物にもあげたしとマイクロ宇宙の神ぞ宣ふ (彰) (10月6日 08時08分)
- 9126 北欧の秋は地球の平和際不戦を祈るノーベルの園(水) (10月6日 09時15分)
- 9127 勤勉の油まみれの夜学生触発の師は世界の誉れ(ひつじ) (10月6日 09時36分)
- 9128 ニュートリノ深き淵にて捉えたる博士ら三代宇宙の暗号 (丹仙) 祝ノーベル物理学賞 (10月7日 09時05分)
- 9129 平和賞もし日本なら安倍さんは祝福電話かけるのかしら (風) (10月7日 21時19分)
- 9130 本人も何の仕事をするのやらわけのわからぬ大臣の椅子(シナモン) (10月8日 07時44分)
- 9131 秋声を発し内閣の難壇は肩書き弾むみな金次第(ひつじ) (10月8日 21時55分)
- 9132 外国で演説すれば金額がぼんと飛びでる打ち出の小槌 (くりおね) (10月9日 08時12分)
- 9133 診療に国境無しと呼びかけし医師ら受難すアフガニスタン (彰) (10月11日 11時19分)
- 9134 偶然を破毀せぬ渦動現在の骰子一擲未来を拓く (丹仙) 讚-田辺元のマラルメ論 (10月13日 08時47分)
- 9135 未来から伝わる波動キャッチして予定調和を抜くコスモス (風) (10月13日 14時02分)
- 9136 「頑張るな」このモットーで船出する医師の願いは中東平和 (彰) (10月13日 21時11分)
- 9137 「頑張らない」介護家族の合言葉でも頑張るよ悔いなきやうに(ひつじ) (10月13日 21時52分)

- 9138 両親のお世話になりし病院のデイサービスにボランティアとして(白馬) (10月14日 21時52分)
- 9139 鉢植えの世話するのみのボランティア亡き夫を知る人々とゐて(シナモン) (10月14日 23時55分)
- 9140 友の娘の復興支援のボランティア待ちたるものは脱皮に似し恋(ひつじ) (10月15日 07時23分)
- 9141 若者の未来になにが待ち受ける科学は進み争い絶えず (くりおね) (10月16日 01時26分)
- 9142 御百度の手水冷たく柄を伝ふ神に仏に祈らんものを (寂) (10月16日 23時38分)
- 9143 ラグビーの祈りに似たる願掛けや得点決むる五郎丸さん(ひつじ) (10月17日 09時35分)
- 9144 星降る夜地底貫くニュートリノ劫波の祈り水に刻めり (丹仙) (10月19日 11時04分)
- 9145 想像をはるかに超えて存在す物理学者の理論の正しさ (くりおね) (10月20日 10時02分)
- 9146 戦争は忘れた頃にやって来るフーコー振子右方旋回 (風) (10月21日 16時45分)
- 9147 キャラメル1個に視線凝集す予科練兵のポケットよりの(シナモン) (10月24日 02時12分)
- 9148 もう二度と戦争したくなくれどもその道進む指導者ありて(白馬) (11月20日 23時31分)
- 9149 世界史の奇跡の一つ七十年戦せぬ世を我は過ごせり(やんま) (11月22日 11時39分)
- 9150 大戦を時代劇のごと遠望する若者たちと昭和を語る(水) (11月23日 20時12分)

- 9151 毎日が葛藤の日々か良き時代あり得なきこと巴里テロ惨事 (れん) (12月7日 00時29分)
- 9152 闘病と言う程までは行かないが日々の錠剤欠かさずに呑む(やんま) (12月11日 21時14分)
- 9153 ありがとうありが10なり蟻100匹林文雄の闘病の言葉 (れん) (12月12日 09時53分)
- 9154 枯れ葉散る並木をひとり歩みつつ命の重さ天に問ひたり(白馬) (12月12日 22時41分)
- 9155 黄金の銀杏落葉を踏みゆけばかの面影のいよよ愛しき(やんま) (12月13日 07時48分)
- 9156 桜紅葉独り散歩の湖畔より聞こゆ「枯葉」のニニロツソなり(ひつじ) (12月13日 22時18分)
- 9157 みちのくの湖畔に立てる乙女像今は静かに雪を待つらむ(シナモン) (12月15日 00時25分)
- 9158 十和田なる乙女の像に光太郎原始のをみな太陽は千恵子 (れん) (12月15日 08時54分)
- 9159 大いなる正午原始の太陽よ以空為命の雷鳥(らいてう)飛翔 (丹仙) (12月15日 23時31分)
- 9160 雷鳥(らいてう)の青鞥なづけ長江は貫き給ふ生は壮烈 (れん) (12月16日 13時11分)
- 9161 はらからの屍を抱き野に立てば富士はましろき冠りにお座す (寂) (12月19日 22時31分)
- 9162 長江を著したりし島比呂志富士霊園に永遠に眠りぬ (れん) (12月20日 16時05分)
- 9163 空の星聖母の汲みし井戸の底眠りて待たむ復生の時 (丹仙) (12月23日 22時56分)

- 9164 復生の師走の池に皮コート脱ぎてすくひぬルルドのマリアへ (れん) (12月24日 00時02分)
- 9165 物言へば唇寒く背を丸め皮のコートに身を隠しゆく(やんま) (12月25日 22時58分)
- 9166 人生の最終コース走る身になほ降りかかる悩みかずかず(シナモン) (12月26日 07時39分)
- 9167 ふりかかる数多こえきて歳晩の足らざるなかの一粒の麦 (れん) (12月26日 15時12分)
- 9168 一粒の麦の祈りは初春の風の翼に乗りて地拓く (丹仙) (1月2日 09時58分)
- 9169 希ひはもあれしはたてを超へゆけよ地をも拓かむ摂理たふとし (れん) (1月4日 10時25分)
- 9170 記録的あたたかさなり新鮮な大地に香る命の息吹 (くりおね) (1月5日 07時04分)
- 9171 もの食めば命の香りもの問はば音符のやうな君が言の葉(やんま) (1月5日 21時30分)
- 9172 宅配の弁当屋さんは日替わりの言の葉そえて惣菜手渡す(水) (1月5日 22時07分)
- 9173 次世代に手渡すものは平和なり北は突如と水爆実験 (れん) (1月6日 21時50分)
- 9174 倒れれば置き去りにされ死に絶える死線を越えし父物語る (くりおね) (1月7日 08時01分)
- 9175 ナラティブの翳しのなかに意味をとつけふこのごろはフランクलをもふ (れん) (1月10日 11時17分)
- 9176 何もなき処で生きる意味を問ひ空手で還る真如の此岸 (丹仙) 西谷啓治を想ふ (1月11日 08時59分)

- 9177 身のうちを流れる言葉あふれけり自然の意思を問わむとすれば (くりおね) (1月12日 09時18分)
- 9178 一月のスーパー節分恵方巻き一夜過ぐれば雛あられ売る(シナモン) (1月23日 01時57分)
- 9179 それほどの雪は積もらず夜明け前蛇口をひねり異変に気づく (くりおね) (1月26日 09時20分)
- 9180 極渦のすこしくそれで比良比叡水面にはゆる鳩の湖(かわせみ) (1月26日 13時59分)
- 9181 流れつつ沈んで浮いてまた沈む永遠の営み春を迎える(やんま) (2月1日 06時14分)
- 9182 西早稻田東へ流れる神田川君と出会いし面影橋かな (弁慶) (2月6日 15時41分)
- 9183 うたかたの流れすぎゆき紫を超へて咲きけるペロニカのを (れん) (2月7日 10時48分)
- 9184 クリスマスローズを探す冒険家高山歩き八重を見つける (くりおね) (2月8日 09時52分)
- 9185 受難節レンテンローズ咲きにけり3・11かの震災は (れん) (2月13日 09時15分)
- 9186 そのみに柔らかい風あるやうにうつむき揺るる花のむらさき(かわせみ) (2月14日 10時07分)
- 9187 明け暮れを憔悴にすぎ俯きぬ心の冥にともす灯りは (れん) (2月14日 13時59分)
- 9188 ことし又花の季節を目の前に心浮き立つことあらまほし(シナモン) (2月15日 00時45分)
- 9189 彼の人面影今も慕ひつつ白梅香る切通し行く(やんま) (2月21日 08時25分)

- 9190 地下深くスクロールして遺されし歌を紐解く流れ新たに (くりおね) (2月23日 09時52分)
- 9191 鶴岡八幡宮の大銀杏捧げし詩句や若芽萌え出づ(白馬) (2月24日 00時22分)
- 9192 幾年の芽吹きの際の巡り来て苦き味など好みとなりぬ(やんま) (3月4日 14時03分)
- 9193 春光の畑につぼみの菜を食めば口にひろがる甘みと苦み (くりおね) (3月5日 10時24分)
- 9194 抱へても抱へきれない大き木のをさな聴いている春の心音(雛菊) (3月14日 03時18分)
- 9195 過ちて傷めし幹に滴れる甘き樹液よ春の楓(メープル)(カワセミ) (3月16日 11時22分)
- 9196 オリーブの園にて祈る若き師のいたみを知らず眠りゆく弟子 (丹仙) (3月22日 21時23分)
- 9196 二度三度にはとり鳴けどあくまでも知るはずないと言い張るわたし(シナモン) (3月24日 09時56分)
- 9197 何処までも尽くして語る空しかり改善つくさむ吾のディスクはも (れん) (3月30日 20時16分)
- 9198 吾が馬鹿は改善できぬものなれど命愛しみ花を愛しむ(やんま) (4月3日 19時58分)
- 9199 死ぬまでに尋ねしものよとアウシュヴィッツ時よ止まれと鉄の轍が(真奈) (4月15日 16時37分)
- 9200 夜の明るることなき沈黙(しじま)償ひの幸福(さち)といふ文字意味を失ふ(丹仙) (4月23日 10時16分)